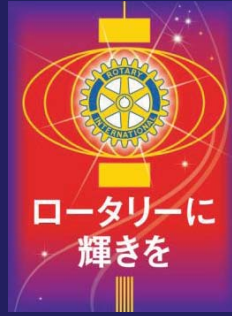


WEEKLY NEWS

2014-2015年度 《9号》

週報 通算 2107回



第2640地区

和歌山東南

ロータリークラブ

本日の例会

9月10日(水)

18:30～華月殿

- ・会長点鐘 ・ローターソング：四つのテスト 小さい秋見つけた ・ゲスト・ビジターの紹介
- ・お食事 ・出席報告(例会委員長) ・会長挨拶 ・幹事報告 ・ニコニコ箱報告(会計)
- ・委員会・同好会報告 ・行事 IDM発表① ロータリー情報・規定委員会・閉会点鐘

先週例会報告 会場監督 赤在依美

ゲスト：日本赤十字社和歌山医療センター副院長 林正様 (和歌山中RC 会長以外)

会長挨拶

坂口 和男 会長

こんばんは。今日、大正乙女が好んだ隠語を紹介します。大正乙女とは、大正時代の女学生のことです。この時代の女学生はお金持ちの家庭の子女達でしょうね。アナウンサー（むやみに告げ口する人）、ジャズさん（やかましい人）、内務省（お金の持ち合わせの無いときなど、「今日内務省8」などと言う）、ビル子（おしゃれな人）、コリ（不良少年や不良少女のこと）、ナイフ（独身の男）。愛媛の高島華宵（たかばたけかしょう）大正ロマン館で、女学生の間で使われていた隠語を紹介する展示会が開かれているそうです。



幹事報告

谷口 拓 幹事

- ①2013-14 年度 年間活動報告書を皆様のラックに入れております。ご査収頂きますよう よろしくお申し上げます。
- ②地区より 5 件のお知らせが届いております。
 - ・インターアクトリーダーシップフォーラムのご案内。日時：9月23日(火・祝日)10:00～15:00、場所：初芝富田林中学校高等学校
 - ・地区大会(第2日目)ロータリーデー物産出店募集について。締切は9月18日(木)。各クラブご当地のご自慢の物産を紹介・販売いただくコーナーを設置。申し込みは地区大会事務所まで。
 - ・地区大会(第2日目)クラブ活動紹介の展示について。締切は9月18日(木)。各クラブの奉仕活動を展示して、大会参加者、一般来場者にご覧いただく。ご準備いただくもの:展示用 写真・パネル・その他の資料(約 900 mm×横 1800 mm)
 - ・「私の心に残るロータリーモーメント」提出のお願い。締切は9月18日(木) 冊子掲載文：600～700 字前後、地区大会 2 日目 10 月 26 日に大会参加者に配布。壇上発表文：200～300 文字前後、地区大会 2 日目 10 月 26 日に大会会場内に於いて、発表、グランプリ決定。
- ・地区大会事務局より大会リーフレット、ポスター・地区大会記念チャリティーゴルフ大会案内が届いており、皆様のラックに入れさせて頂いています。ご査収頂きますよう よろしくお申し致します。



	ニコニコ	米山奨学金	ローター財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計	725,000	42,000	20,000	16,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名	9/3 42名 89.36%
出席免除会員	4名	8/20 41名 87.23%

和歌山中 RC 林 正様・

本日、卓話の機会ありがとうございます。
坂口君・林先生、本日よりよろしくお願いします。
谷口君・林先生、本日 卓話宜しくをお願いします。
青木君・林先生、よろしくお願いします。
配偶者お誕生日お祝い・前田君、郷間君、小林君。



《委員会報告》

社会奉仕委員会 宇治田 堅三委員長

「広島豪雨災害義援金のお願い」

当クラブより広島市の豪雨災害被災者の皆様に義援金を送りたいと思います。
これから義援金 BOX を回しますので、皆様 ご協力よろしくお願い致します。

外部卓話「前立腺がんダビンチ手術、加齢臭、胃ろうについて」 日本赤十字社和歌山医療センター副院長 林 正 様 (和歌山中 RC 会長以外)



本日はお招きいただきありがとうございました。三つの話題を提供させていただきました。前立腺がんロボット手術、加齢臭、胃瘻です。

ロボット手術は、米国で 20 年前に開発され 2 年前我が国で保険収載されました。現在は前立腺悪性腫瘍（がん）手術のみが保険治療対象です。前立腺がんは、発症する人が急速に増加している高齢者男性のがんです。PSA という血液検査で初期検査され、前立腺生検で確定されます。前立腺がんが死なないために、PSA 検査をぜひ健診、内科医院などで受けるようにしましょう。ロボット手術は内視鏡手術のため皮膚切開創が小さく、

出血量も少ないため手術浸襲が開腹手術に比較し低減されます。術者は患者から離れたコンソール内の 3D 画面で操作を行い、その操作による指示が患者の体内にあるロボットアームに伝えられることにより手術が行われます。現在和歌山県立医大と日赤和歌山医療センターに設置されています。今後さらに対象となる疾患が増加することが期待されます。

年齢を重ねることによる加齢臭を気にされている方も多いかと思えます。体臭（加齢臭）には脂質系の匂いとタンパク質系（腐敗臭）の臭いがあります。脂質系においては生理的なものであり、香水にも通じるものであまり気にする必要はないように思います。人々に嫌悪されるのはタンパク質系の臭いであり、主に口臭から生じていると思えます。歯周病、虫歯に気を付ければよいのではないのでしょうか。

終末期治療の一環として胃瘻増設術があります。経口摂取不能になった時生きてゆくためには点滴もしくは胃瘻で栄養を補給せざるを得ません。治る可能性があるようであればもちろん胃瘻も必要ですが、高齢認知症、寝たきりで食事ができなくなった場合胃瘻は、いかがなものなのでしょうか。国民のアンケート調査では自分がそのような状態になった場合胃瘻をしてほしいという方はわずか 5.8% です。しかし親族がそのような状態になった場合栄養を与えないなどという選択をできる国民はわずかです。諸外国ではそのような状態では胃瘻をすることはあり得ませんし、国民医療費、国民のアンケートからも胃瘻をしないという選択肢ももっと広く議論されてもいいのではないのでしょうか。